ちいきのなかま通信

発行日：平成30年9月7日
No.66
発行者：特定非営利活動法人　ちいきのなかま

ようこそ！赤ちゃんフェスタ
～であう・たいけんする・たいせつにする～
を開催します＠１１月２５日（日曜日）

今年も「ようこそ！赤ちゃんフェスタ」の準備が始まりました。

ただいま出展者さん募集中です。会場で世代を超えて情報を提供してくださる方、おすすめのもの（食・グッズ・支援メニューなど）を提供してくださる方を募集し

す。

H29年2月、初めて「ようこそ赤ちゃんフェスタ」を開催したときに、私たち自身この街に子育てを応援したい人たちがたくさんいることに驚き、勇気をいただきました。「切れ目ない支援」は行政と市民が連携してこそ実現できます。昨今、全国どこでも「子育ての支え手がいない」ことが課題です。子育て世帯が全世帯の25％程度しかいない状況で「子ども」「子育て」と接点のない人たちも確実に増加しています。数少ない子ども・子育て家庭と子育てを支えたい人たちが出会う場を作ること、会って話してみることが大事です。ちいきのなかまはファミリーサポートセンター事業を通して、また地域での様々な活動の中で、出会いを作り出してきました。赤ちゃんフェスタは、子どもを中心に据えて世代を超えた人々の集いの場として開催します。子育て世代だけでなく、昔子どもだった世

始まりはいつも小さな気づきと学習会から。

日々、現場の出来事について「なぜ…？」または「どうしたらいいのか」を考えては実践しています。研修会で、学習会で、ケース検討で、意見交換し参考文献に学び、現場にフィードバック。様々な出来事を「特別なこと」とせず、「これからはこれが普通になるかも…」と課題として考えます。

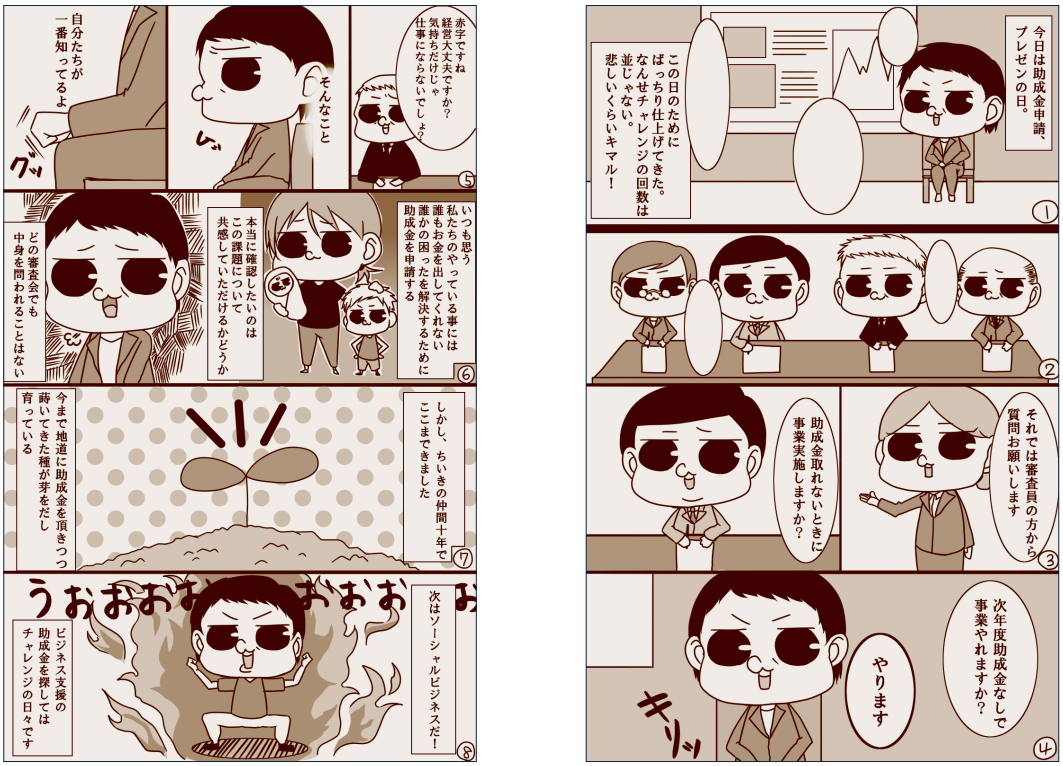
「この子、様子が変だな～」とか「なにかママがきつそうだな」と気づくのは現場スタッフ。現場支援の強みは、否応なくコミュニケーションする場面があること。何らかの問題が起きた時が、ある意味チャンスで、すかさず言葉をかける、その言葉が大事だったりします。本当にそっと近づいていく感じ。それができる支援者が、ここ佐世保にいてくれることは本当にありがたいことだと思います。そして、こんなふうに子どもと家族に寄り添う支援は、今後一層必要です。子どもと子育て家庭に寄り添うことは、支え手である私たちが子どもたちの未来に関わらせてもらうことです。だからこそアンテナを張り巡らせて、必要な情報をお伝えしたいと思います。

地域にはきっと素敵な人がいる。その出会いを楽しみに、ようこそ赤ちゃんフェスタ…開催します。

イラストでみるちいきのなかま「〇〇のこ～んなかんじ」
ちいきのなかまの周りで起こる出来事をイラストで紹介☆

助成金申請のこ～んなかんじ

by 蓮すけ



当法人では数年前まで、プレゼンといえば「理事長が行くもの」…でした。しかし、いまはスタッフが出向き、プレゼンするようになりました。上手です。スタッフは各自果敢にチャレンジする人たちです。行くことが決まるとパワーポイントの準備、プレゼンの練習をきっちりしてチャレンジ！そしてそれはとても大きな成果をもたらしています。ひとつは助成金をゲット！という結果。もうひとつはなぜ事業をするのか、目的がそれぞれの中で明確になり、事業に向き合う姿勢が変わりました。向く方向が定まり、方法を選択して合意ができれば、各自が考えて動く。主体的な仕事のあり方は、次の課題へのチャレンジにつながっていきます。

「うっちゃり」のような状況でも「企画」を土俵に戻すような強引さが、これまでのちいきのなかまのプレゼン。しかし、スタッフは正統派。的を得て理論的です。

ところで最近、選考会の審査員の質問がいまひとつ、だと思うのです。NPOは市民活動に取り組む運動体です。何を課題に、どう動こうとしているのか、その目線の確かさ、地道さを評価（批判）されたい。しかし概ねその質問はない。「共感」によって私たちは勇気を得ます。未来に向けて市民力が大事であるなら、勇気を引き出してくれる助言や批評の聞ける審査会であってほしいと思います。　　スタッフ　M

インターンシップの学生さんに感想文書いていただきました！

8月から時折活動に参加していただくことになったインターンシップ。これからも時折活動に参加してくださるそうです。またドットジェイピーさんご提案の企画も実現しそうです。未来あるみなさんの意欲や好奇心に触れるとこちらも元気になりそうです！

若者と政治を結ぶ NPO法人ドットジェイピー

ドットジェイピーは、1998年に「議員インターンシップ」として始まりました。その後、特定非営利活動促進法の施行をきっかけに、非営利セクターへのインターンシップ事業を専門的に展開するNPO法人として設立されました。主な活動内容は「議員インターンシップ・コーディネート事業」「政治情報提供事業（広報事業）」「地域活性化に関する諸フォーラム・セミナーの開催」などです。

インターンを通して

8月から、佐世保市でファミリーサポートセンターの受託団体である「NPO法人　ちいきのなかま」さんのもとで、インターンシップをしています。初めて施設に伺った際には、とても緊張しました。しかし、担当者の方があたたかく迎えてくださったのを覚えています。私がインターンシップに参加した動機は、NPOはどんな仕事をしているんだろう、と疑問に思ったことが始まりです。将来の職業選択が全く定まっていない私にとって、NPOという働き方はまさに未知の世界でした。NPOと一口に言っても、業種や規模は様々で、非常に多様性があります。子育て支援事業を扱う「ちいきのなかま」さんのもとでは、複雑な社会の現状を知ることができました。

インターンを始めて最初に感じたことは、人と人とのつながりが深い、ということです。現在準備中のモントブレアで作業のお手伝いをした際、食器の寄付がたくさんあり、びっくりしました。立派なお家も、昔のご縁でつながったということで、やはり出会いというのは大事だなと思いました。人間関係が希薄になりつつある現代で、人と人とのつながりの橋渡しができるのはNPOという形態ならではだと思います。

世間では、保育園幼稚園の不足など叫ばれています。その対策として、費用の無償化や施設の増設が挙げられていますが、NPOへの支援は大きく取り上げられることが少ないように思います。育児への選択肢を増やすことで、多様化するお母さんたちの生活スタイルに対応することができるのではないでしょうか。しかし、資金の拠出や、多すぎる依頼への対応といった問題も多く抱えることになります。明確な答えの出ない点が、子育てにおける非常に難しい点であると感じました。こうした苦しい現状を抱える中、子育て支援を続けるスタッフの皆さんの努力はとてもすごいことだと思いました。

このインターンを通して、お母さんたちの並々ならぬ苦労の上に、今の私たちがあることを改めて認識させられました。帰省した時、母親に改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。

長崎県立大学　経営学部経営学科　1年

9月からの予定

9月からの「ちいきのなかま」は企画盛りだくさんです。

企画を通してメッセージをお伝えします。いずれの企画も最初は小さな学習会でした。日々の実践、当事者の皆さんのお話を聞きながら、またほかの地域の研修会に学びながら、思いを育んできました。共感いただけましたら、参加者として、協働者として、ボランティアとしてご協力をお願いします！！！

産後サポーター（家事援助）養成講座　9月28日・29日

主なメニューは食事づくり・清掃・洗濯を予定しています。受講後は地域で活動開始！！利用者の方のお声を聴きながら、スキルを確かなものにしたいと思います。産前の方のニーズにも対応していきます。

ようこそ！赤ちゃんフェスタ

11月25日（日）10：30～15：30　会場：アルカスSASEBO

今回のテーマは「であう・たいけんする・たいせつにする」としました。赤ちゃんや子どもたちとの出会いは私たちにとって幸せな出会いです。赤ちゃんや子どもたちにとってもこの地域との出会いが幸せな出会いであってほしい。遊びや人とのつながりのあたたかさを体験して、楽しい気持ちになっていただきたいと思い、準備中です。

一番に伝えたいのは今年も「産前産後ケアからの切れ目ない支援」をみんなの手で実現しましょう！！！ということ。行政・専門職・市民の連携をもっと大きくもっと確かなものにしていきたいと思います

赤ちゃんフェスタ　プレイベント（佐世保子ども劇場様との共催で開催）

11月23日（土）11:00～11:35　アルカスSASEBO第1リハーサル室

かぜのうた　表現教育研究所　http://drama-lab.yolasite.com/

チケット　親子￥1,500　子ども￥500　大人￥1,000　対象：0～2歳の親子

かぞくの学校　12月～2月

毎年開催しています。子育てを間近で見たことがない、夫婦、家族のロールモデルが身近にいない、家族についてきちんと考えたい…そんな方にぜひ参加していただきたいと思います。

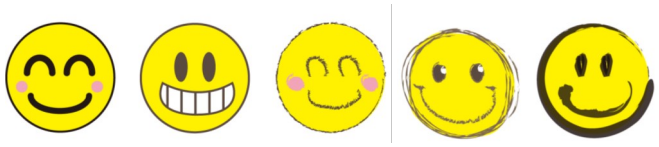
今年のラインナップは4つ

12月19日　乳幼児が演劇を必要とする理由　　劇団風の子九州　玉木聡美

1月～2月　世帯経営セミナーはじめてみよう夫婦会議　Logista株式会社　長廣夫妻

「叱る」は必要　「怒る」は不要　パントマイマー　村田美穂

離乳食と発達　歯科医　増山千絵（予定）



きょうだい支援

その1　きょうだい支援講演会

講師：滝島　真優さん

目白大学人間学部人間福祉学科助教授。双子の弟が自閉症であることを契機に、きょうだい会SHAMSを立ち上げる。現在は大学で社会福祉士養成に携わる。

（きょうだい会SHAMS：http://sharesib.cocolog-nifty.com/blog/）

その2　きょうだいの日　12月～2月（人形劇・パントマイム公演：日程交渉中）

その3　きょうだい支援講演会　2月2日（土）午後

（主催//佐世保市子ども発達センター　　共催//ＮＰＯ法人ちいきのなかま）

講師：有馬　靖子さん

シブリング・サポート・スペシャリスト　　「きょうだい支援を広める会」　代表

「きょうだい支援の会（東京）」運営委員

※　2月3日(日）にも研修を企画予定。地域の状況により開催地、形態を検討します。

書籍「ファミサポの安全を考える～八尾市乳児死亡事故を教訓に」

が発刊されました

子どもの一時預かりファミリー・サポート・センター（ファミサポ）事業は、2015年に「子ども・子育て支援新制度」に位置づけられ、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と、援助を行う人（援助会員）を行政が橋渡しするという、年々利用する家庭が増えている注目される事業。

そんなファミサポで、1時間の預かり利用中に起こった事故。
預かり先で何が起きたのか、明らかにならない状況、行政の対応、裁判への経過を教訓に、制度の成り立ち、運営、事故補償などの現状をていねいに整理し、子どもの安全が守られる事業のあり方を問う。

［もくじ］

第1章　八尾ファミサポ事故の記録
1 事故発生から裁判までの経緯…藤井朋樹・藤井真希
2 民事裁判の経過と意義…岩本朗（弁護士）
3 「ファミサポ裁判を支える会」の取り組み
…宮脇町子・湯川祥子・岩狭匡志（ファミサポ裁判を支える会）
4 八尾ファミサポ事故と報道…大西亜雅紗（MBS報道局）
第2章　ファミリー・サポート・センター事業の課題と展望
1 事業の現状と今後…東根ちよ（鳥取大学）
2 支援者養成の課題
――アドバイザーの専門性を支える国・自治体の条件整備の必要性
…東内瑠里子（日本福祉大学）
3 事故で明らかになったファミサポ事業の課題
…岩狭匡志（大阪保育運動連絡会）
4 子どもの発達と保育事故――預かり中の事故を防ぐために
…服部敬子（京都府立大学）
コラム
石川幸枝（全国民間保育園経営研究懇話会）
橋本卓（小児科医）
丸山豊美（ファミサポ裁判を支える会）
二宮千賀子（NPO法人沖縄県学童・保育支援センター）
寺町東子（弁護士・一般社団法人子ども安全計画研究所）
小山義夫（赤ちゃんの急死を考える会）

ファミサポだけじゃなく、これからの福祉制度とリスクについて考えることができます。おすすめ！

つきやま産婦人科後期妊婦クラスに入らせていただくことになりました

今年1月光月町に開院された『つきやま産婦人科』の後期妊婦クラスに、7月より参加させていただいています。後期妊婦クラスは毎月２回、第１・第３木曜日に開催されており、妊娠30週以降の妊婦さん対象のクラスです。

出産に向けて、経過や注意点などを築山先生より、入院の説明やおっぱいチェック、院内の見学を助産師さんがされます。

その間にあるおやつタイムの約15分のお時間をいただき、退院した後こころにとめておいてほしい事と支援の紹介をちいきのなかまより、させていただいています。

これまでのファミサポ事業をはじめとし、どの活動でも出産後のお母さんとお話させていただいています。そして、「もっと支援の情報など早く知りたかった」「出産の前に知っていたら…」の声を聞くことがしばしばありました。それならばと『赤ちゃん交流』と題し、赤ちゃん親子に講師となってもらい、これからママ、パパになる人たちに、出産育児体験を話していただいたり、支援の紹介をするという企画を、親子ひろばよんぶらこで2度開催しました。しかし、広報先に苦戦しご参加がとても少なく、プレママ・パパに集まってもらう難しさを痛感しました。

そして、プレママ・パパが集まる場所に私たちが出向いて情報を伝える事が必要なのではないかと考え始めた頃、縁あって築山先生の奥様と話をする機会がありました。話す中で、私たちの活動にとても関心をおもちになり、築山先生にご紹介してくださいました。先生から「うちを活用して下さい」という嬉しい言葉をいただき、後期クラスに参加して産後の支援情報をプレママの皆さんに伝える機会を得るという運びになりました。

完成した冊子「お産体験をシェア」を謹呈し、私たちが今取り組んでいる事、これから取り組むことをお伝えしたところ、「とても大切で、必要な活動ですね」とも言っていただき嬉しく思いました。

クラスでは、母子手帳に入る大きさのコンパクトな資料をもとに話しをして、妊婦さんに心配なことはないかをお尋ねさせてもらっています。始まってまだ数回ですが、聞き取った内容に答えられる資料を準備したり、今後「みんなの実家プロジェクト」にご縁がありそうな妊婦さんに出会ったりと、すでに私たちにとっても重要な場となっています。

今後、プロジェクトが進展し産前産後のママたちの助けになるメニューが揃って、よりたくさんの支援の紹介が「つきやま産婦人科クラス」でできることを想像しながら、今できることを工夫を重ねながら続けていきたいと思います。

スタッフY

●これからベントや講座の予定●

よろしければ予定に書き加えていただければ幸い。
イベントには有料・無料、託児の有無などあります。事前にお問い合わせください。

イベント名	日時	会場	内容
広報活動	9月6日・20日	つきやま 産婦人科	妊娠中の方向け情報提供
ぽちぽちヨガ教室	9月3日・10日 （月） 14:00～15:00	ボランティア研修室	定期開催 参加費￥500 会員外￥800
おもちゃ図書館	9月18日（火） 10:00～12:00	ファミサポ 事務所	定期開催 参加費無料
産前産後ケア ヘルパー研修	9月28日・29日	みんなの実家 モントブレア	別紙参照

寄付報告

先月、西日本豪雨災害の被災にあたり、パントマイムのMIHOさんの呼びかけにご寄付いただいたみなさんに感謝とともに報告いたします。いただいた寄付は、MIHOさんが現地の支援団体に直接届けています。このとりくみは今後も続けておこないます。ご協力をお願いします。

後記

最近のモントブレア…カーテンがかかり、キッチン、リビングがお部屋らしく整っています。電子レンジ、炊飯器、冷蔵庫などもありますので、調理可能な環境になりました。秋にはモニター利用を開始しようと思います。夏の間、暑さもあって進まなかった作業もここにきて進みそうです。これからも皆さんといっしょに創っていけたらと思いますので、遊びに来てくださいね。

NPO法人ちいきのなかま

入会・会員（正・賛助）会員継続のご案内
正会員：総会議決権あり　入会金¥1,000　年会費￥6,000
賛助会員：総会議決権なし　年会費￥3,000
主な特典：各種事業会員特別料金にてご優待

連絡先　NPO法人ちいきのなかま

〒857 0022長崎県佐世保市山手町9-19
携帯　090-9498-3608
E-mail:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp
HP:http://chiikinonakama.boo.jp/